

平城宮跡資料館 展示紹介 「資料館の中庭」

意外と知られていませんが、平城宮跡資料館は中庭にもいくつかの石製の展示品があります。サンルームの休憩室を出ると、右手すぐに高さ1mほどの標石が立っています。これには「従是東 平城宮（これより東、平城宮）」と刻まれています。戦前に設置されたものようですが、詳細は不明で、現在調査中です。次いで、正面の池に注目。池の中には、6つの大きな石が並べられ、礫も敷かれています。これは、奈良文化財研究所が1969・70年（昭和44・45年）におこなった平城京跡左京一条三坊十五・十六坪の発掘調査で検出した園池の景石等を移築したものです。最後に中庭北西隅をご覧ください。とても大きな立方体の石が目に入ります。これは、平城京の正門である羅城門の礎石です。1935年（昭和10年）の佐保川改修工事の際に、羅城門があった大和郡山市来世橋付近で見つかった4つの礎石の内の一つです。

平城宮・京の調査研究と保存の歴史を伝える資料館の屋外展示資料にも、ぜひご注目ください。



資料館の中庭

（企画調整部 加藤 真二）

編集 「奈文研ニュース」 編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2018年12月